

平成 21 年度岩手県小・中学校における家庭学習に関する調査

児童・保護者調査結果のお知らせ

小学校

はじめに

昨年（平成21年）10月、児童の皆さん、保護者の皆様には、岩手県立総合教育センターが行う「家庭学習における調査」にご協力いただき、たいへんありがとうございました。その結果がまとまりましたので、ご協力いただきました皆様に対し、集計結果をお知らせいたします。

なお、質問量が多いため、当リーフレットでは一部のみの掲載とさせていただきます。全ての結果は、岩手県立総合教育センターのホームページにてご覧いただけます。

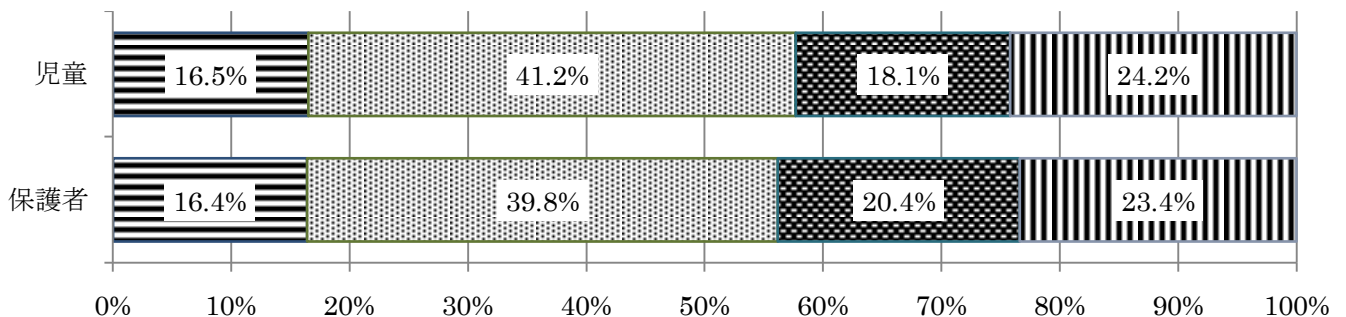
岩手県立総合教育センター <http://www1.iwate-ed.jp>



調査回答人数 県内小学校第 6 学年児童 589名（男子308名 女子281名）
(県内抽出38校) 同上の保護者 563名（男子児童保護者288名 女子児童保護者275名）

視点1「帰宅後の時間のつかい方」について

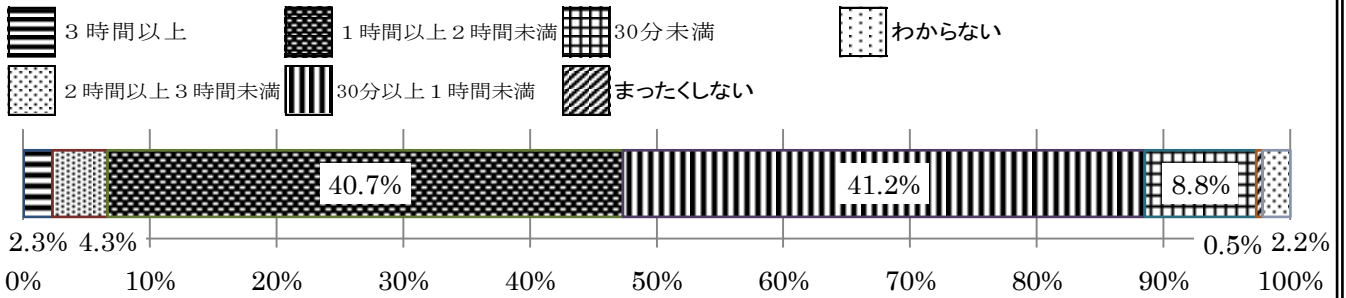
児童(16)保護者(12) 帰宅後、ねるまでの時間のつかい方を考えて生活しましたか。



◇「帰宅後の時間のつかい方を考えて生活できた」が、児童も保護者も16%強でした。

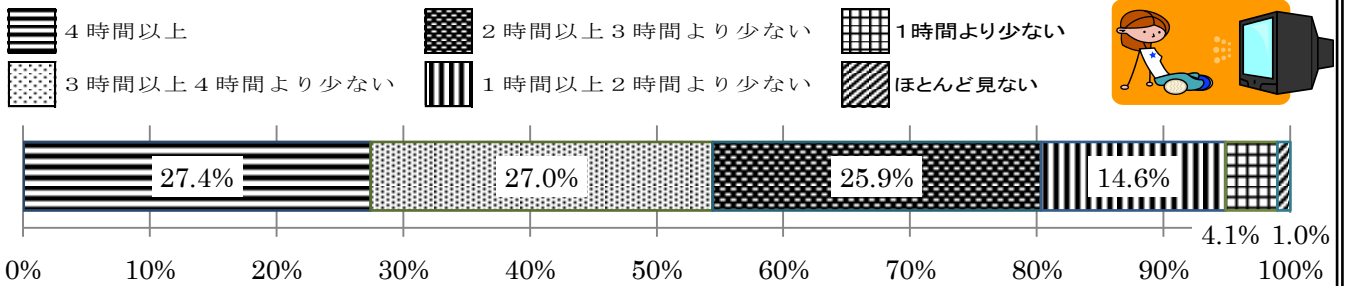
視点2「帰宅後の時間のつかい方ー学習・テレビ・テレビゲームー」について

保護者(3) お子さまは普段(月～金曜日)どれくらいの時間、家庭学習をしていましたか。



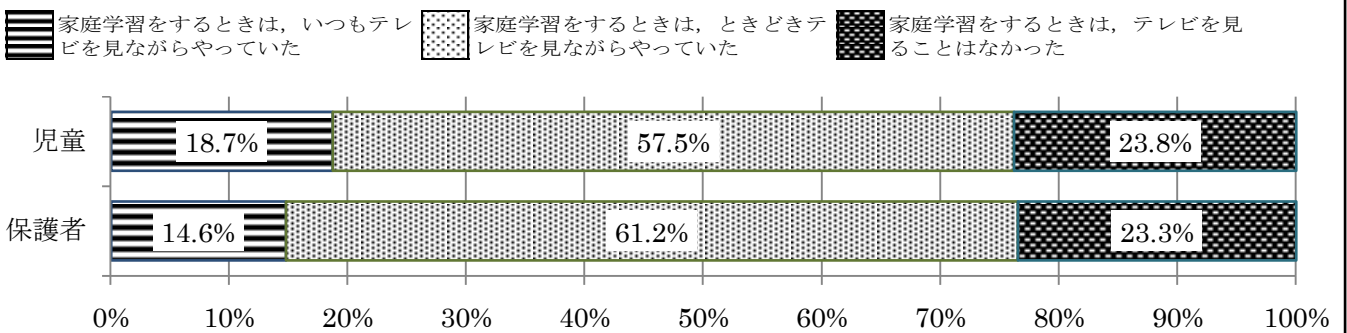
◇保護者は、子どもが1時間前後は家庭学習をしているとらえている割合が高くなっています。

児童(18) 普段(月～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、テレビを見ましたか。



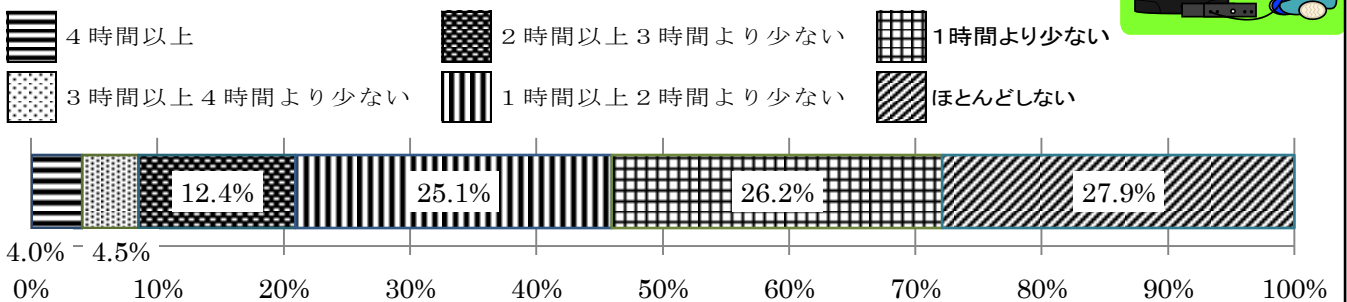
◇1日あたりのテレビの視聴時間が、「2時間以上」の児童の割合が80.3%でした。

児童(7)保護者(5) 家庭学習をするときに、テレビが気になりますか。



◇家庭学習をするときにテレビを見ながらやっていたが、児童も保護者も75%を超えています。

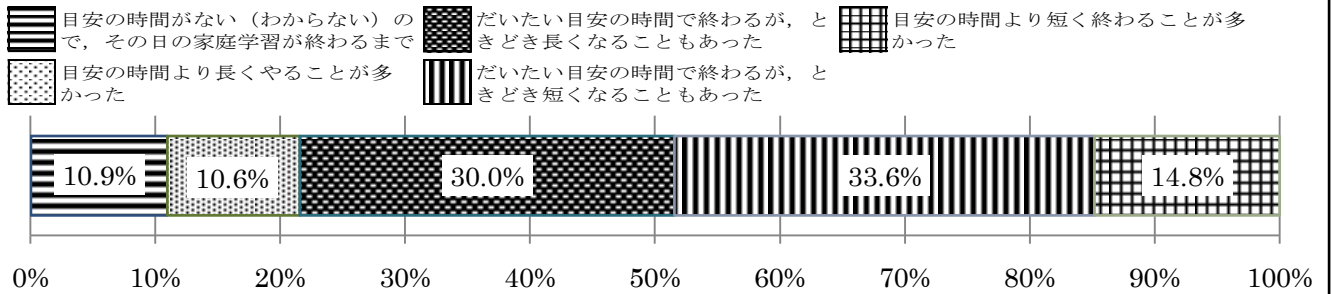
児童(23) 普段(月～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしましたか。



◇1日あたりのテレビゲームをする時間が、「2時間以上」の児童が20.9%でした。

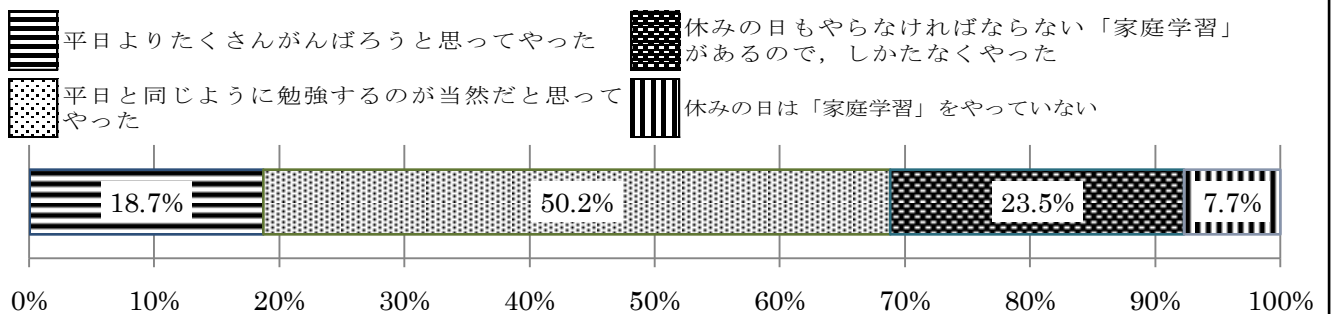
視点3「家庭学習」について

児童(3) 家庭学習には、どれくらい取り組んでいましたか。



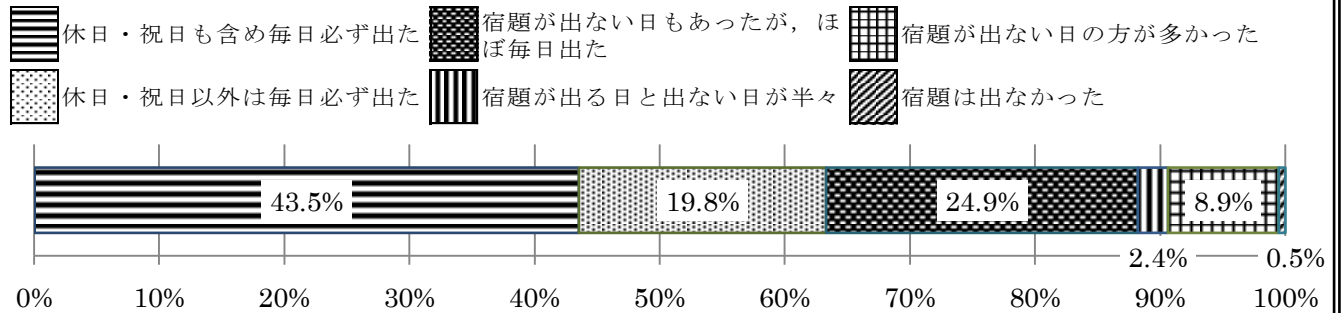
◇児童は、各学校が示す「目安の時間」を目途に家庭学習をしている割合が高くなっています。

児童(4) 学校が休みの日の家庭学習には、どのような気持ちで取り組みましたか。



◇「平日よりたくさんがんばろう」「平日と同じように勉強するのが当然」と思っている児童は、68.9%でした。

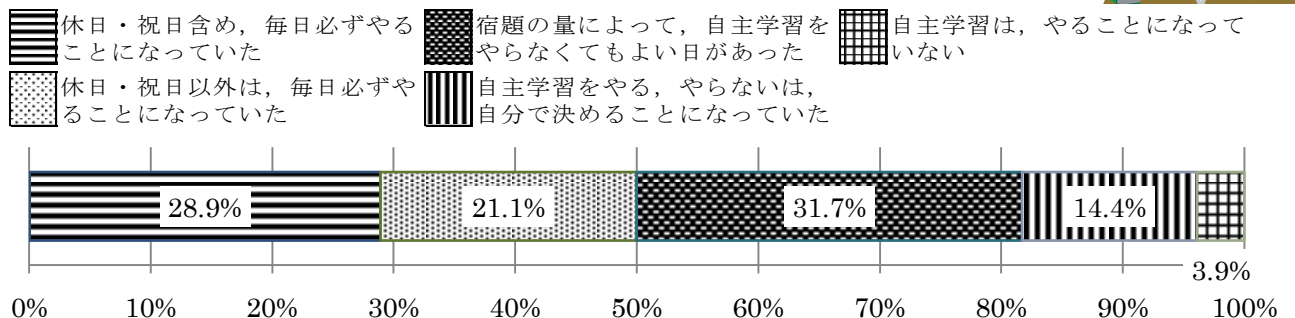
児童(8) 宿題は、どのくらい出ましたか。



◇「休日・祝日も含め、毎日宿題が出た」児童は、43.5%でした。



児童(11) 宿題のほかに、自主学習をやることになっていましたか。

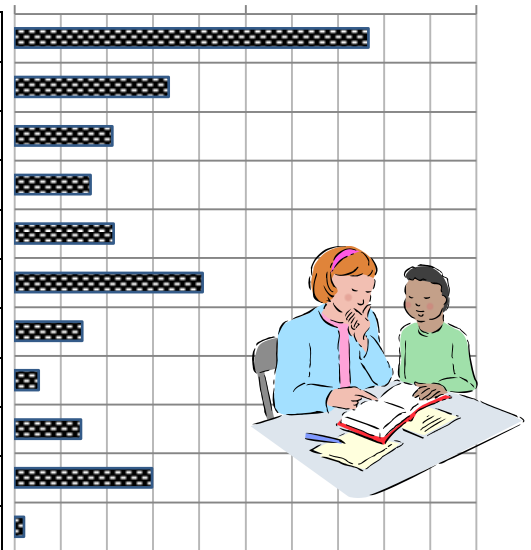


◇自主学習を必ずやることになっていた児童は、50%でした。

保護者(6) 家庭学習について、家庭ではどのようなことを
行っていましたか。(複数回答可)

「家庭学習」を行ったかどうか、声をかけた	76.6%
学習に集中できるように、テレビを消すなど環境に配慮した	33.4%
学習中、励ましの言葉をかけた	21.1%
学習したことに目を通すようにした	16.5%
学習後、ほめたり、認めたりした	21.5%
間違ったり、悩んだりしている所をアドバイスした	40.7%
もっと勉強の量や勉強時間をふやすように声をかけた	14.7%
問題をつくって解かせた	5.2%
市販の問題集など買い与えて、取り組ませた	14.4%
特になく、「家庭学習」は子どもに任せていた	29.7%
その他	2.0%

0% 50% 100%



調査結果を振り返って

<視点1・視点2から>

- 帰宅後の時間のつかい方を考えて、生活できていない児童が多いようです。
テレビを見る時間が長くなると、テレビを見ながら家庭学習をする「ながら勉強」になってしまう傾向もあります。また、テレビゲームをする時間が長い児童もいるようです。
家庭学習の時間だけでなく、テレビを見る時間やゲームをする時間なども含め、帰宅後、寝るまでの時間のつかい方を考えた、規則正しい生活ができるようになることが、本調査から見えてきた課題です。

<視点3から>

- ほぼ毎日出される宿題や自主学習に、きちんと取り組む児童の姿がうかがえます。さらに、「目安の時間よりも長く」「休日は、平日よりもたくさんがんばろう」と意欲的に家庭学習に取り組む児童もいます。家庭でも、児童に対して声をかけたりアドバイスをしたりしています。今後も、家族に温かく見守られながら、意欲的に家庭学習に取り組む児童が増えていくような取組を継続することが重要です。

